広報かじき

№319 昭和56年7月号

発行 加治木町
編集 総務課

〝美〟と〝強〟さを競う

加治木伝統行事クモ合戦

(関連記事は7Pに掲載)

◆人口22,594(+43) 男10,656(+25) 女11,938(+18) 世帯 7,596(+20) 56.6.1現在( )は前月比

町政発展に貢献された244人を表彰

55年度町総合表彰式

町行政面等に貢献された方々を感謝し、表彰する昭和五十五年度本町総合表彰式は六月二日、町福祉センターで行われました。

受賞者は、地域住民の融和と育成に尽くされた方や、本町教育振興に貢献された方、そして納税関係に協力くださった納税組合長さん、町内の商工業発展に尽くされた優良従業員農林業振興に優秀な成績をおさめられた方々など二百四十四人でした。

式は、午後二時から始まり東町長は「本日の受賞者二百四十四人を始め、地域住民の方々が、町政をよく御理解いただき、それぞれの立場で御活躍くださいました。お陰様で我が町も日を追って発展の方向にあります。どうか今後とも皆様の限りない御支援と御協力をお願い申し上げます」とあいさつ、つづいて審査報告のあと表彰状や感謝状が贈られました。

来賓として、加治木税務署長や財務事務所長、溝口県議会議員、下猶町議会議長等が「受賞者の御功績をたたえ心から感謝と敬意を表します」とお祝いのことばを述べました。

これにこたえ受賞者を代表して犬童猪之二さん（小山田）が「本日このような席で表彰状をいただき感謝にたえません。これを契機にさらにがんばって行きたいと思います」とあいさつがありました。

各部門ごとの主な受賞者は次のとおりです。

表彰を受ける町内商店街の優良従業員

受賞者を代表して犬童さん(右)があいさつ

行政連絡員として町政発展に貢献

丸岡　実（向江町）

本町教育振興に貢献

壱岐正治（西諏訪）岩元利雄（鹿屋市）古江國治（於里）犬童猪之二（毛上）

納税関係に貢献

大徳喜良（於里）日高栄子（西反土前）永田フヂ（柳田）中村光志（小陣）前田平八（天神）米良紀子（下浜）村下久信（東塩入）

商工業発展に貢献

松永ミヨ（竹下）入部久枝（萩原）山ノ上クサエ（姶良町）薗田盛信（毛上）堀徹視（姶良町）中森ミエ（中福良東）児玉房子（於里）田麦弘子（姶良町）福嶌美津江（田中）中村久仁子（西諏訪）篠田文子（姶良町）森岡光信（隼人町）松田京子（垂ノ口）野毛千鶴枝（岩原東）柊中茂（姶良町）

季節の話

金魚の飼い方

金魚の先祖はフナです。フナが長い間に変異したり、人工的な交配を行った結果、現在のような種々の美しい金魚が生まれました。

素人が容易に飼えるのは、ワキン、リュウキン、シュブンキン、デメキンなどです。平均寿命は三年から五年くらいですが、特に丈夫なワキンなどは、上手に育てれば十年以上生きるものもあります。

飼う容器は、空気に触れる面積がなるべく大きいものがよく、その点から、球型より角型のものが適しています。

大きさと、中に入る数の割合は、30×20×20／センチ角の容器に、五センチ大の金魚四匹程度がちょうどよいようです。

一つの水槽に何種類もの金魚を飼うときには、体形が丸く、泳ぎが活発でない種類（リュウキン、デメキン、ランチュウ）と、泳ぎが活発な種類（ワキン、シュブンキン）をいっしょにしないよう気をつけてください。

買うときは、水平に泳いでいるか背骨はまっすぐか、ヒレは左右対称か、などの点に注意し、なるべく専門店で求めてください。エサは、市販の人工飼料でかまいませんが、時おり、パンやシラス干し、フなども加えて変化を持たせるようにしましょう。

時間励行！

町民みんなで時間を守りましょう。

防ごう非行 助けよう立ち直り

「社会を明るくする運動」始まる

第31回“社会を明るくする運動”が7月1日から1か月間、法務省の主唱により全国で行われます。

この運動は，犯罪の防止と罪を犯した人たちの更生について国民すべてが力を合わせ、明るい社会を築くことを目的としています。

この運動は、昭和24年に「犯罪者予防更生法」が施行されたとき、東京・銀座の商店連合会がこの法律の趣旨に共鳴して、保護少年の援護のための少年サマー・キャンプや街頭宣伝を行ったのをきっかけに、その後、運動の輪が次第に広がり、今日まで全国各地で地道に続けられてきました。

最近の少年非行は増加の一途をたどり、学校内や家庭内暴力など非行の低年齢化が進んでいます。

とくに夏休みは、学校生活から解放されて、非行への芽生えが始まる季節です。警察庁の調査によると、14歳から16歳の年齢層が少年非行の実に6割を占めています。

なかでも女子の非行が急増しており、増加率では男子のほぼ2倍という高い数字を示しているのです。

そこで今年の運動の重点目標は「住民の連帯による青少年の非行防止と更生の援助」に置かれました。

犯罪予防や罪を犯した人の更生には、地域社会の温かい協力が欠かせません。

ＰＴＡや青年団などの地域の人びとを主体とする活動を組織的に行い、犯罪のない明るい社会をみんなの力で築きましょう。

少年補導員の活動に御協力を！

―加治木警察署―

警察では、増え続ける少年非行を防止し、青少年の健全育成を図るため、各地域における少年非行防止活動の中核的な推進役として「少年補導員」を委嘱しております。

加治木町の少年補導員は

坂元信男さん（本　町）
桃木野透さん（反　土）
東　実　さん（小山田）
中山正行さん（西別府）
宮路寅慈さん（木　田）
田中明男さん（本　町）

の六人です。（委嘱期限昭和五十八年三月三十一日まで）少年補導員は、日常生活を通じて非行少年の発見、補導活動にあたるとともに地域の人々からの少年相談に応じたり青少年関係機関への働きかけを行ったりするものです。

少年補導員に対する皆さんの御理解と御協力をお願いいたします。

税金はみんなのためにに使われます

私たちが健康で快適な生活ができるように、国や地方公共団体はいろいろな活動を行っています。

例えば、社会福祉の充実、住宅や道路の整備、教育や科学の振興など、その活動は幅広い分野にわたっています。

これらの活動に必要な費用は、その社会を構成している私たちみんなが分担して出し合っていかなければなりません。これが税金です。

国の活動を表す昭和五十六年度の一般会計予算は、四十六兆七千八百八十一億円ですが、このうちの約六十九パーセントが税金でまかなわれています。

竜門の会

負蜘蛛を少年いそぎ掌につつむ　川崎　黒兎

鵜飼舟騒ぎの後の闇深く　高木　正男

移植して紫蘇の香りを手に残す　宮脇　思川

五月雨のそぼ降る浦や戻り舟　加藤　白柳

谷の水汲みて憩へり花いちご　古江　重美

検診に得し安らぎや青き踏む　横山　江南

サーカスの道化手管の汗光り　田代　俊泉

吹く風に湯の香流るる栗の花　井之上透山

朝靄（もや）のはれゆく岬ユッカ咲く　大迫　すみ

遠雷や滝見おろしに配流の碑　能勢真砂子

負け蜘蛛の形勢遂に立ち上る　鶴田　耕

水無月や鮴（エリ）の列見え芦間より　上野　光

与謝野鉄幹・晶子夫妻の歌碑建設事業始まる

〝加治木は来るにあらず
帰るなり　父と住みける
思ひ出のため〟

与謝野鉄幹は、父の勤めの都合で少年期の数年間、加治木の性応寺で育ちました。

のち、鉄幹は妻晶子とともに、明治・大正の日本詩歌壇において革新の巨火を点じ不朽の名声を残しました。

このようなことで、鉄幹夫妻と加治木との深い因縁の物語を加治木の誇りとして、永く後世に残したいという有志の人たちが実行委員会を作り、歌碑建設の計画が実行に移され、趣旨を広く町民に訴え、温かい賛同と協力を求めております。

与謝野鉄幹が植樹したタブの木（性応寺）

たまたま今年は、加治木町文教の歴史にかつてない大事業である新加治木中発足の年にあたっており、この事業の意義は大きく、その成功が各方面から期待されています。

募金事務等の連絡先は、教育委員会社会教育課内の与謝野夫妻歌碑建設実行委員会となっています。

町更生保護相談
毎月第一水曜日

加治木町保護司会では、住民の福祉、特に社会的弱者に対し、次のとおり更生保護相談所を開設し相談に応じています。気軽にご相談ください。

○開設日　毎月始め水曜日
　午前九時～十二時
○相談事項
　施設等から帰住する人で就職に困っている人。又は、帰住受け入れに悩んでいる家族。
　心身障害者で社会生活に復帰又は、就職しようと念願している人等懇談の上指導します。
　秘密事項は厳重に守られます
○場　所　町福祉センター
○相談員　加治木町担当保護司
　心身障害者カウンセラ

交通安全はお母さんを中心に各家庭で!!
＝町交通安全母の会＝

明るい家庭を送るために家庭から交通事故の犠牲者を出さないようにしましょうと、加治木町交通安全母の会が六月十二日、町消防会館で開かれました。

これは、明るい家庭を営むうえで各家庭から交通事故の犠牲者を出さないように、母親が中心となり、家庭内の安全管理者として、子どもや老人はむろん、ご主人にも具体的な細かい注意をしていただくことが母親の大きな役割りであると開かれたものです。

また、交通安全というものを一人ひとりのものとするためにも、お母さんを中心に家庭に根をおろした安全教育推進をしようとするものです。

母の会の役員さんを紹介します。

会長＝坂元広子（交通安全協会婦人部長）副会長＝小崎れい子（竜門小ＰＴＡ母親代表）牧郁子（かずみ保育所リーダー）委員＝山口久子（永原小ＰＴＡ母親代表）内村サミエ（永原保育所リーダー）西迫雅子（町婦連会長）監事＝片ノ坂フジ子（柁城小ＰＴＡ生活指導部）大山孝子（錦江小ＰＴＡ母親代表）

「寡婦福祉法」が成立
お気軽に御相談を
―加治木町母子会―

昭和三十九年に母子福祉法が制定。四十四年に寡婦福祉資金の貸し付け制度が、始まりましたが、寡婦福祉法の制度成立までいたっていませんでした。

この制度成立を願って、一昨年は、全国百万人の会員で三百五十万人の署名を集め、昨年は、会員一人ひとりが県選出の国会議員の先生方へハガキ陳情をして、組織をあげて取りくんできました。

そして今国会では、全未協の本部鯉渕事務局長を先頭に、近県の代表者が上京して陳情や傍聴を重ね、ようやくさる六月に国会を通過して本制度が成立しました。

これは、病気等でお困りの場合無料で世話したり、苦労をいやすため、国民宿舎等を利用した場合料金の一部助成など、母子家庭や寡婦のしあわせのためにできた制度であります。

お困りの方は、気軽に御相談ください。

加治木町母子福祉会、または、加治木町母子相談協力員へ
川内和子、電話②―一七二六
児玉周子、電話③―二三七八

健康「自然食」
―町栄養改善推進員―

真夏の太陽を浴びてひかり輝いている海や山野は私たち人間に健康で誰にも負けないという感じを与えています。そして、食生活が豊かになった近頃の店頭には、色とりどりの豊富な食品が並び、つい手を出してしまいます。

しかし、これらの食品には有色有害食品が多く、私たちは毎日、有害食品を買って食べているようなものです。

添加物のない自然に生きる山の新緑はほんとうに美しいものです。我が家の食生活も今一度考えて見たいものです。

これからの夏に向って夏負けしないように朝食抜きでなく、一日の食事は三回あることを忘れず健康のカギを握る私たち主婦の手で手を加えた自然食をバランス良く食べて美しい自然のように生きたいものです。

心配ごと相談

毎週木曜日の午前中町福祉センターで応じています。
〝お気軽にどうぞ〟

しんなかはじおの

幼児たちに大うけ 読み聞かせと紙芝居

町立図書館

町立図書館では二月から、幼児や児童たちを対象にした「おはなしのじかん」を開いていますが、毎回七・八十人のこどもたちが会場につめかけて、紙芝居や絵本の読み聞かせに聞き入っています。

この「おはなしのじかん」は、テレビッ子ともいわれているこどもたちの目を、すばらしい本との出会いに向けさせ、幼児や児童の読書習慣と読書意欲を高めるために町立図書館が新しく企画したもので、幼稚園が午前中で終園する毎週水曜日の午後二時三十分から図書館の日本間で開いています。

内容は、紙芝居三本、絵本の読み聞かせ二冊で、時間は約四十分程度です。最近は、電話で開催日の問い合わせや母子づれの常連も数組。なかには幼児が会場にいる間に夕方の買物などの用件をすませるお母さんもあり、結構いそがしい主婦たちにもよろこばれています。

一方、二月からの図書貸出の冊数も前年期に比べて増えており、このため関係職員も新刊絵本の購入や読み聞かせ、紙芝居の発声や演技にみがきをかけ、多くのこどもたちの期待にこたえるとともにみなさんの来館をお待ちしております。

毎週水曜日の午後二時三十分、図書館の「おはなしのじかん」をおたのしみに。幼児にとって「すばらしい本との出会い」になることでしょう。

館長の紙芝居に見入る子供たち

お姉さんは絵本のサービス

花園の草取りをする学級生

高齢者学級生が 奉仕活動

道路沿い等花園を清掃

町の中央高齢者学級生百十五人が、六月三日、町内の道路沿いにある花園等の清掃作業を行いました。

中央高齢者学級には、園芸、生花、書道、民踊、音楽の五学級がありますが、これら、学級で学び得たことを実践して、明るい街、きれいな街をつくろうと、この清掃作業が計画されたものです。

この日は、湯浅三郎運営委員長を始め百十五人のお年寄りたちが鎌や鍬、せん定バサミ等をそれぞれ持ちより、午前九時に天神公園に集合。網掛川公園から児童公園前、駅前通りの道路沿いにある花園を四班に別れ、作業しました。

花園には、満開のさっき等が植えられているが、この花園の草取りや、学習で学んだせん定、施肥等を行い、この通りは、みちがえるようにきれいになりました。

町軟式野球夏季大会 明乳優勝旗を寄贈

町軟式野球夏季大会が郡大会の予選を兼ね五月三十一日、町営運動場で行われました。

この日試合に先だち明治乳業鹿児島工場から優勝旗が贈られました。

参加チームは、九チームでしたが早朝から熱戦が展開されました。

成績は次のとおりです。

優勝＝加治木電報電話局
二位＝明治乳業鹿児島工場

明治乳業から優勝旗が寄贈

早朝大会 優勝はニュー無邪気

軟式野球早朝大会は四月から毎週日曜日の朝行われましたが、成績は次のとおりでした。

優勝＝ニュー無邪気
二位＝加治木ジャガーズ

高松宮杯県大会 地区代表に加治木ジャガーズ

全日本高松宮杯軟式野球鹿児島大会は、七月十八・十九日、鹿屋市で行われますが、これの姶良地区予選（国分市を含む）がこのほど行われ、本町の加治木ジャガーズが優勝し、地区代表として出場します。健闘を祈ります。

"サマージャンボ宝くじ"発売

七月中旬から予約受付 三千万円がなんと百二十本

七月中旬から新しい魅力の加わった新タイプ「サマージャンボ宝くじ」（別称・市町村振興宝くじ）の受け付けが開始されます。

収益金は、豊かな住みよい私たちの街づくりに役立てられます。

申込方法等詳細については、七月十五日（水）の新聞（朝刊）紙上に発表されます。

昨年のサマージャンボ宝くじの県内発売実績額は、三億二千百万円で枚数にして百七万枚であり、百万円以上の高額当せん者が三十六人誕生しています。

婦人のコーナー

子どもたち待望の夏休みももうすぐ!!あれこれと計画がたてられる頃ではないでしょうか。
それにしても、水難事故、交通事故などのない楽しい休みでありますように――。

ご協力に感謝!! バングラデシュの子どもへ 愛の募金が続々と

全国の婦人会が大きく手をつなぎ、バングラデシュの子どもに光を!!と呼びかけ、愛の募金活動を開始してひと月余りたちました。
本町婦人会でも、会員が中心になり地域の人々にご協力をお願いしたり、PTAのお母さん方にも参加していただき、たくさんの募金が寄せられています。
子を持つ親の願いは、「この子を無事に育てたい。」ということだと思います。
今、寄せられて来る一円玉、十円玉、五円玉の一つ一つに、この親心が託されていると思います。私たちのこの心がバングラデシュの子どもたちを失明から救うことでしょう。ほんとうにありがとうございます。この運動は七月いっぱい展開しておりますので、重ねてご協力をお願いいたします。

おはなしの会

塩入公民館で――

このほど、東塩入、中塩入、南塩入、西塩入下の四つの婦人会が協力して、幼児のためのおはなし会を開くことになりました。町婦人会の目標の中に幼児教育がとりあげられていますが、地域の中で具体的に活動しようと計画されたものです。四つの婦人会の会長さんたちを中心に、地域に住む婦人たちが手わけして、幼児に絵本を読んであげたり、映画をしたり、紙芝居をしたりしながら、子どもたちと仲良しになれたらと張りきっています。子育てにちょっぴり余裕のでてきたお母さんたちのボランティアです。
ご利用をお待ちしています。

毎週 水曜日 午後二時から 塩入公民館です。!!

食中毒に注意

気温、湿度が高くなり、食物がいたみやすい時です。
なるべく残り物が出ないように調理したり、手まめに火を通したりしましょう。冷蔵庫の過信はやめましょう。お弁当のおかずは濃いめに味をつけ、すべてさましてからふたをしましょう。外食ではなま物に注意しましょう。

訂正

五月号、六月号でお知らせしました「省エネ」作文掲載の写真が間違っていました。おわびしてお知らせします。

5月号掲載
郡山清子さん

6月号掲載
隈原恵さん

加治木町商工会長賞
（55年度省エネ作文コンクール入賞作）

もったいないよ

竜門小四年　内村いずみ

私の家族で一番、もったいないことをするのは私です。学校でも歯みがきする時水道をとめたように思って教室へ行こうとすると、「内村さん、水道の水が出たままだよ。」と、友達に言われて、「えっしまった。」と思ってふり向くと、水がたくさんでています。みんなに「もったいないよ、省エネでしょ。」と言われました。私は、「省エネ、省エネ。」と言いながら、とめました。この「省エネ。」を聞いてから、家でも学校でも言いました。
妹は、すききらいが多くて、食べ物もたくさん残します。野菜があると、とくに残します。私は、「また、にんじんを残してるがあ。省エネだよ。ちゃんと食べんね。」とつい言ってしまいます。食べ物も、残さないで食べれば体にもいいし大きくなるから、いいと思いました。
学校では、トイレや水道の水が出ていると、「あっまた水が出ている。」と、みんなで注意しあってとめています。
母は、もったいないことをしません。食べ物やごはんをむやみにすてません。私たちが、テレビ、ストーブ、こたつをいっしょにつけていると「省エネだよ、すこしくらい、電気とストーブを消しなさい。」と言います。
父は、私たちのように、いつものんびりで、省エネをあまりしていませんがときどき「あまりテレビを見ないで、省エネをしなさいよ。」と言います。
おばあちゃんは、パンのふくろや、おかしのふくろをとっています。でも、使いません。だから、ごみになります。私のおばあちゃんは、省エネをしていても、役にはたたなくて、いつもだめにしているので、省エネではありません。
この前、おふ呂の電気がきれたことがありました。まっくらで、せっけんがどこにあるかもわかりませんでした。
また、おり紙がいらなかったので、すてようとしました。母が、「すててもいいの。」「すててもいいの。」といっていたので、すてませんでした。何日かすると、図画で、おり紙がいりました。私は、すてないでよかったなあと思いました。それから、あまり物をすてたり、くちゃくちゃにしないようになりました。
私の家のように、省エネをしている家がたくさんあれば、石油のすくなくなるのを、ふせげると思います。何トンの石油を、何日も使ってお金もかからないいいと思います。

３８０余年の伝統行事

加治木名物　くも合戦

NHK「ウルトラアイ」が取材

7月20日（月）午後7時半放映

加治木の伝統行事「名物クモ合戦（町観光協会主催）」が六月十四日、町福祉センターで行われました。

今年は、NHKテレビでおなじみの人気番組「ウルトラアイ」の山川静夫アナウンサーが取材のための特別参加もあって約二千人の観衆が詰めかけ、四時間にわたる死闘の戦いを繰り広げました。

大勢の観衆の前で、山川アナ意気ようようと登場声援を送ったが、ダウン。

このクモ合戦は、いまから約三百八十余年前、島津義弘公が朝鮮役の陣中で兵士たちの士気を鼓舞するため黄金グモを集めて闘争させたのが本町のクモ合戦の始まりといわれています。

当日は、午前九時に開会、合戦に先だち優良グモのコンテストが行われました。これは、体のしまり具合や、まばら模様の光沢など審査されるもので、三匹の「ミスヤマコッ」が選ばれました。

合戦は、大人の部、小人の部に別れ、かみしも姿の竹内親男審判長の合図で試合開始。勝負は一・七㍍の高さに設けられた五十㌢の横棒を戦場に「相手のクモに糸をかけたもの、かみついたもの、振り落したもの、糸を垂れて横棒からぶらさがったのをすかさずその糸を切って落した方が勝ち」で決まりますが、二匹が戦場に上がるとクモの持ち主は「それいけ、カンチケ、糸をキレ」と、ところかまわず声援を送っていました。一匹のクモが落ちると「勝負あり」と審判員が判定。勝ちグモの持ち主は「ヤッタ一勝」と声をあげると観客からもドッと歓声が上がっていました。

クモの美人コンテスト風景

そしていよいよ大人の部二十八番目に山川アナウンサーのクモが意気盛んに登場、山川さん…身をのり出し「ソレ、ガンバレ」と声援を送ったが残念、一勝もせず敗退しました。

最後に加治木の優勝グモと山川さんが持参した沖縄グモの決戦が行われた。沖縄グモは手が長く、いかにも強そう。ところが、これもプスッと糸を切られ敗退、山川アナ「参りました。さすがは、伝統の加治木グモ」と一礼。

この合戦の模様は、七月二十日（月）午後七時三十分から「ウルトラアイ」の中で放映されます。

当日の出場グモは、百六十二匹で成績は次のとおりでした。

▽優良グモ

①立山経弘（高井田）②久保田幸光（鹿児島市）③日高一兵（知覧町）

▽合　戦

少年の部

㊙日高あゆ子（知覧町）②北森清美（小陣）③住吉竜太郎（東京）

大人の部

㊙今別府義雄（鹿児島市）②竹内孝礼（萩原）③長谷正治（天神）

▽王　将

久保田幸光（鹿児島市）

子供は風の子　太陽の子

6歳～9歳の基礎体力つくり

「たくましい体と豊かな心」は子育ての理想であり、また教育の基本です。

明日をになう子供たちが、自然の中で、また友達同志の〝子供社会〟で夢中になって遊びながら、足腰をきたえ体力を養い、たくましくすこやかに成長してほしいと願うのは、親ならだれしものことでしょう。

基礎体力とは、日ごろの生活を営むうえに必要な最小限度の体力で、とくに子供のときに培っておかなければならないものです。

基礎体力の中には、早い時期から発達し始めるものもありますので、子供のときから発育段階に合った運動を実践していく必要があります。

そのためには、体を動かす遊び（運動遊び）を十分に行わせ、食事そのほか日常生活の習慣を正しく身につけさせることが大切です。

「子供が幼いうちは、体力つくりなど考えなくてよい。」とか、「中学生になってからでも間に合う」と思っている方も中にはおられるようですが、それは大きな間違いです。

乳幼児には乳幼児に合った、小学生には小学生らしい体力つくりが必要です。

おしらせ

税の作文募集

締切　中学生九月十八日　高校生九月五日

国税局、税務署では、中学生、高校生の皆さんから「税の作文」を募集しています。

税について、日ごろ考えていることや意見など、税に関するものであれば何でも結構です。奮って応募してください。

作文の締切

中学生―九月十八日(金)

高校生―九月五日(土)

作文の応募方法等について詳しく知りたい方は、最寄りの税務署にお尋ねください。

〝加治木の歴史〟を発刊

一冊五〇〇円

文化財保護協力会

町文化財保護協力会がこのほど「加治木の歴史」と題する本を発刊しました。

郷土の文化的遺産を知るうえですばらしい資料となります。

一冊五〇〇円です。

ご希望の方は、文化財保護協力会事務局（町教育委員会、社会教育課内）でお求めください。

「こども青空図書館」

＝夏休中に町内六か所で開館＝

町立図書館では、夏休み期間中に町内六か所で「子ども青空図書館」を開くことにしています。近くの会場に親子づれでお出かけください。

絵本や児童図書を準備します。また、紙芝居や絵本の読み聞かせなども行います。涼しい木陰で、おもいっきり好きな本を読みましょう。

月日	場所	時間
7月24日(金)	護国神社	（いずれも午前十時から正午まで）
7月31日(金)	精矛神社	
8月7日(金)	隈姫神社	
8月11日(火)	錦江小学校	
8月20日(木)	竜門の森	
8月28日(金)	永原小学校	

米の小売販売価格が改定

昭和五十六年七月一日以降政府米が百パーセント新米（五十五年産）となるため精米の小売販売価格が次のとおり改定されました。

精米十キロ当たり包装込み価格

品目	現行価格	改定価格
中米Ⅰ	四、〇八〇円	四、一一〇円
中米Ⅱ	三、八一〇円	三、八六〇円
胚芽精米中	三、七八〇円	三、八一〇円
標準価格米	三、三五円	三、三七五円

ビタミン強化米五〇グラム入りの場合は十キロ当たり六〇円加算されます。

うぶ声

五月二十一日から六月二十日まで受付分

出生者	保護者	自治会
堀之内健司	弘	岩原西
上東亜由美	孝市	西諏訪
永井　竜	祥一	須崎
日高剛二	典也	岩原東
大戸昭洋	三雄	春日団地
上水流梨奈	武文	岩原西
鮫島俊弥	宗臣	端山
中尾寛之	清信	西塩入上
永吉千春	健次	弥勒
若松さとみ	隆雄	蔵王団地
原口千帆子	和雄	東諏訪
草原一恵	弘己	西江口団地
中尾　芳	千秋	蔵王団地
木元理恵	繁	今町
稲留里一子	義貢	岩原西
桑幡泰子	学	萩原
福岡純子	純則	西江口団地
吉永和義	英義	蔵王団地
本村よしみ	吉正	岩原西
吉丸功祐	日出紀	西反土後
池江則崇	敏彰	江口団地
上荒磯泰祐	巧	東塩入
米田　愛	多助	岩原東

御寄付

香典返しのかわりにご寄付をいただきました。厚くお礼申し上げますとともに故人のご冥福をお祈りいたします。（　）内は故人。

＝町社会福祉協議会へ＝

二万円　小陣　黒川ミセ（照80）

八万円　東諏訪　前田ノブ（為雄80）

三万円　下浜　河野フミ（一男69）

三万円　上木田　松元アキ（マチ子40）

三万円　西浦西　柚木健一（フサ82）

二万円　札立　船迫ハツエ（義一83）

一万円　柳田　溝口光子（義文30）

＝町育英奨学資金へ＝

二万円　東諏訪　前田ノブ（為雄80）

一万円　札立　船迫ハツエ（義一83）

○五月二十一日から六月二十日までのご寄付を掲載いたしました。

税は納期内に
今月は、保険税
二期の納期です

農業委員会委員
の選挙
七月十七日(金)